

DF医療懇話会

☆世話役

・佐藤和恵 ・鶴岡正吉 ・赤堀智行

☆年間実施計画

- <実施> 年間3回(4月、6月、12月)
- <開催> 技術部会定例会
- <テーマ> 会員に役立つ最新の医療講座
- <講師> 大学及び基幹病院の専門的立場の医師
- <謝礼> 20,000円程度
- <参加費> 1,000円
- <対象> DF技術部会メンバー

医療講演テーマ (2015年~2022年)

救急医療	癌治療	介護関連
救急医療と脳血管障害 昭和大学 土肥先生	消化器疾患と内視鏡 <消化器癌> 昭和大学 山村先生	地域包括ケア 渕上虎平
救急と延命処置 昭和大学 古川先生	最新の癌治療 <免疫療法> 昭和大学 吉村先生	共生社会 渕上虎平
コロナ感染下における病院医療体制の現状と課題 昭和大学 八木先生	癌を知る <乳癌> 慶応大学 池田先生	介護の現状と問題 渕上虎平

医療講演テーマ (2015年~2022年)

高齢疾患	DF講演	特別講演
加齢と眼科 昭和大学 岩渕先生	痛み---不思議な感覚 鶴岡正吉	コロナウイルス総論 昭和大学 木内先生
整形外科疾患 昭和大学 矢倉先生	老化とは 佐藤和恵	
高齢化と歯科医療 昭和大歯科 七田先生	高齢者の健康・経済 佐藤和恵	
健康に寄与する口腔の機能 昭和大歯科 桑澤先生	カカオハスクの抗酸化作用 佐藤和恵	
	排尿障害の原因と治療 鶴岡正吉	

2023年度開催計画

[日程]

12月上旬

[演題]

日本の医療の現状と行方

[演者]

元厚労省 副大臣 赤松正雄氏

↓(交渉中)

国立病院機構理事 前田光哉氏

2025年問題

★2025年問題

- ・団塊世代800万人プラス(国民の1/4)
3000万人1/4 65以上4000万1/3
- ・要介護、利用者の増加 5倍
- ・介護離職(10万人)と人材不足(70万人)
5-6年前の倍 ストレス、憎しみ、虐待
180万から250万 過労・低賃金 外国人3500
- ・年金、社会保障費の増大と文教、科学技術費の削減
40%75歳以上
- ・介護難民・老老介護・虐待・核家族化
認知症 75歳以上 15% 450万 +軽度800万
独居 東京年々増加 5000人、札幌94000 3%

教育・制度の改革

★医学教育

麻酔	手術が出来ない(外国はNS)
眼底	眼科のみ(外国は医学生)
気管挿管	医師のみ 日本10%しかできない
がん告知	60% 告知方
医学生	出席簿、面接

★医療保険制度・診療報酬制度

★低医療政策による医療崩壊